

# ひまわり通信

SSKS  
No.83



## 平成二十九年 度展 望

理事長 隅 一 清

今年の正月は、連日好天に恵まれ、暖かい日が続き、老体?にはありがたいことでした。お陰様で、移送サービス事業は順調な経過で推移しています。福祉車両四台、普通車三台、持ち込み車両二台の計九台で、三百六十五日、安全運転を心がけて送迎しております。思えば、十年前の平成十九年は私にとって忘れられない年でした。区が平成十七年度からトリップ制を導入したので、年間トリップが一〇〇〇を越えないとBクラスでの助成金申請になり、当会のトリップは九一七なので、助成金は百万円で、年間移送料は百三十万円でした。

前年度まではAクラスで申請をしていたのですが、八十三トリップ少ないために、区は何の配慮もなく百六十万円を減額して来ました。役所に何度も足を運び、交渉しましたが、基準は基準とのことでした。私はその時自分に言い聞かせました。絶対に頑張つて文句のない実績を上げるぞ!...と。

昨年度のトリップは六五〇〇、移送料は一千万円を越えました。しかしトリップ数の上限は五〇〇〇なので、これ以上助成金は減ることはあつても増えることはありません。車両が増えれば、車両にかかる経費も増えて来ます。車庫代にしても事務所のある野沢地区では月額三万円です。船橋、砧近辺に現在三台駐車してはいますが、二万円以下で借りられます。

すぐに取に行けない不便さはありますが、背に腹は変えられま



せん。年々車椅子での乗車の利用者も増えて来ています。

一人暮らしの方が多いため介助も必要になって来ました。

本年度は、国土交通省の福祉有償運送の更新の年になります。相変らずの膨大な資料作成や、会議等が行われます。

幾度となく、簡素化を提案しましたが、行政は無視しています。当初は、新しく始める団体のためとか、言っていました。減ることはあつてもこんな面倒で利益もなく、大変な福祉有償移送事業に参入する団体はありません。介護タクシーの認可を取って始めた方がいいので、現在世田谷区に登録している介護タクシーは九十件近くあります。

基本的に介護タクシーは、一般のタクシー等を呼んだ時と同じに配車料金が加算されるので、二十キロ位の送迎ですと、当会の料金の倍ぐらいいになります。

昨年末あたりから、ガソリン価格も少しずつ高くなってきました。ドライバーも昔の様に、年金を貰っているから、晩酌の足しになれば:等と言っていた人達も高齢化して、免許返上とかで、会では生活のために仕事として従事する人が多くなりました。ボランティアでは生きていきません。

今年度は、会の車両七台、持込車両二台、移送ドライバー十四名の体制で、安心、安全、確実な移送事業を展開していく所存です。

私は五十年以上運転をして来ましたが無事故です。高速道路では、車間距離を取ること、裏通り等では、いつも危険を予知して走行することをドライバーに教えています。今年もよろしくお願ひします。



## 移送車両を頂きました!

当会の移送サービス事業も、お陰様で二十三年目に入りました。透析利用者は、週三回の利用でトリップ数が多くなり、有難いのですが、最近は相乗りの利用で格安になるので、新規利用者は減っています。毎月固定の利用料を確保するためには、どうしても施設の移送を請負わざるを得ません。重度の障害施設で、高校生等が四人以上乗車するので、車両も七人か八人乗る車が必要になり、娘の車両を使用していたのですが、側面を擦ったり、幅寄せし過ぎてタイヤホイールを傷つけたりして、クレームが出たので、中古車両を購入する事になりました。当初は借入金で処理する予定でしたが、理事からの運営協力金の提案があり、その協力金でノアの八人乗り車両を購入しました。

ドライバーの皆様をお願いします。安心、安全、無事故の移送は当たり前で、やさしい移送サービスを心がけると共に、自分の車両だと思っ  
て、車両にも十分  
気を使って下さい。  
会の車両は、ほとん  
どが車両本体の保険には加入し  
ていませんので、  
基本的には、傷つ  
けた本人の自己負  
担で修理をお願い  
しておりますので心  
得ておいて下さい。



## 区民ふれあいフェスタで 亀井さんが表彰されました

十二月四日(日)に区民会館ホールで今年度の障害を持つて永年仕事に従事している自立生活者の方や自立生活努力者と一緒に自立支援功  
労者として会計の亀井歌子さんが区長表彰され  
ました。亀井さんは当会設立から書道教室や  
俳句の会等の行事に協力して来ました。会計も  
金庫番として二十二年間、会のサイフを握って  
います。

都からの助成金が六百万円以上あった時期  
は、運営も楽でしたが、平成十八年に都か  
ら区に助成金が移行してからは、移送トリッ  
プ制が併用されたために、八十万円しか助成  
金が受けられず、役員の給料も減額して頑張  
った時期もあります。昨年から野沢、中丸  
地区の町会長としても活動しています。

最近少しボケが来たと言っていますが、朝  
夕は愛犬と一緒に町内を歩き回っていて元氣  
一杯です。これからもよろしくお願いします。



2016.12.04.10

## ひまわり句会

菅野孝夫 選

堀之内 千代

夫も痛み膝も痛みて年の暮  
新年会母似三人揃ひたる  
初春や卒寿の膳に酒を酌み  
木枯や人形町の酒饅頭

小松原 錦子

拾ひけり桜落葉を二枚ほど  
暗闇坂下り柚子切蕎麦食べに  
蜜柑の山口争ひをつしめぬ  
何鳥か知らねど鳥やお元日

宮 沢 ひとり

焼芋屋北風と日とせめぎあふ  
コインランドリーフル回転の冬の雨  
北国の飛節雪千里や赤信号  
明治神宮はとバスガイドの成人式

大谷 のり子

金星の大きな光寒に入る  
集合写真いつせいに外すマスク  
北風に勝つ太陽のカフェテラス  
浜千鳥朝の光に啄める

小田原 郁代

母と子と揃ひの手編み冬帽子  
近々としやがんで眺め冬牡丹  
宝登山の臘梅の香に包まるる  
日脚伸ぶ犬の散歩とおしやべりと

亀井 歌子

お稲荷の銀杏落葉の當なせる  
一人ゐる炬燵の中にも猫  
冬ぬくし人形町の人形焼  
金団を大鍋二つ作りけり



## 行事報告

### ◎小田原早川のみかん狩り

十二月二日(金)

恒例となったみかん狩りは晴天に恵まれて、マイクロバスで一路小田原へ…。

富士山を右手に眺めながら、小田原厚木道路を早川で出て、一夜城前の駐車場でトイレ休憩しました。みかん狩りの会場の脇にバスを止めて中に入ると、あちこちのみかんの木に、黄色のみかんが鈴なりでした。

オナーになって五、六年になります。障害のある人のために、入口に近い処で、取りやすい木を毎年選んでくれるので、木は毎年変わりますが、一本の木で六十キロから八十キロ取れます。数にして七〇〇〜八〇〇個位です。お土産のみかんと、取ったみかんを分けて、昼食会場に向かいました。小田原近辺の食事処は、土、日は予約ができないのですが、今年は金曜日なので、真鶴半島の市場の二階にあるレストランを予約して、美味しい魚の刺身を頂きました。

早川のみかんは甘くて美味しいと好評なので、別便で注文する人もいます。今後も続けていきますので、初めての人もぜひ参加して下さい。

参加者二十五名



### ◎区民ふれあいフェスタ展

十二月四日(日)

今年のふれあいフェスタでは、ウルトラマンとくまもん等と呼んで盛り上げようと実行委員が力を入れたお陰で、例年、三千人位の来場者が五千人になりました。

人が多すぎて身動きができなかった…とかな店の前が人だかりで品物が売れない…等の苦情もありましたが…。日中は暖い陽気に恵まれて盛況でした。当会のバザーも会員の皆様から色々提供して頂いたので大盛況でした。

バザーの品物管理は亀井さんをお願いしていますが、倉庫からの出し入れや、区役所までの運搬等の人手が不足して、今年は若い人にバイトに来てもらいました。年々スタッフが高齢化して、ボランティアで活動してくれる人がいなくなっています。今後バザー等続けていけるか考える時期にきています。

作品展の展示も、加藤先生と松宮さんが毎年やっています。皆様のご協力を期待しています。



### ◎忘年旅行

#### 九十九里浜かんぽの宿旭

十二月十一日(日)

杉田会長が代表の世田谷身体障害者福祉協会の会員でバスに乗り換える事ができない車椅子の会員にヒューマンハーバーの福祉車両を出して、かんぽの宿(旭)まで移送し、その代わりにヒューマンにマイクロバスを出すということ。合同忘年旅行をやることになりました。しかし車椅子参加者がなかったため、バス二台に分乗して旭に向かいました。

好天に恵まれ、渋滞もなく、予定通り十一時三十分に到着、乾杯の後は美味しい料理とお酒で盛り上がりました。アトラクションは、当会でお馴染みの青村ゆかりさんの歌と踊りで楽しみました。恒例のつきたてのお餅のサービスもありました。散策したり、お風呂に入ったり、カラオケを楽しんだりして過ごし、夕暮れが迫る頃に東京に向かいました。

参加者併せて六十二名





## 新春新年会

一月十四日(土)

今年も新春顔合わせの新年会が柿ノ木坂華空間で行われました。連協会長の杉田さんの乾杯の音頭で幕を開けました。

今年は大熊理事が三軒茶屋で一目惚れ?した大道芸人のチクリノさんが出演するというので、前評判も上々でした。演技が始まると、全員彼にクギづけ状態! 汗ビッシヨリで演技してくれた彼に感謝感激でした。

参加者三十一名



## 三月 日帰りバスハイク 三月十二日(日) 千葉館山ファミリーパーク

今年の春は、ポピーの花で有名な館山ファミリーパークに行きます。花摘みもできます。房総半島には

ストックやキンセンカ等、露地植えの花畑も多くありますが、足元が悪く、畦道なので車椅子は入れないので、見るだけになってしまいます。

お昼は活きの良い漁師料理店で美味しいお刺身を頂く予定です。

帰路は、金谷港からフェリーに乗って東京湾を横断して久里浜に着き、東京に帰ってきます。潮風と花の香りを楽しみに、ぜひご参加下さい。平成二十八年度最後のバス旅行になります。



## 行事予定

- ◎日 時 三月十二日(日) 九時出発
- ◎行 程 野沢く海ホタルく館山く金谷く久里浜
- ◎会 費 一人七千円(送迎料別)

◎参加希望者は二月末日迄に事務局にお申し込み下さい。

## 編集後記

私の趣味と言えば、本業だったカメラと旅行と料理です。会員が少ない頃は、総会の後の懇親会等の料理はすべて手作りしました。

研修旅行でも、会社の保養所を借りていたので、夜の宴会料理も、七品か八品ぐらい作っていました。もともと本業がカメラマンだったので、料理学校で教材用の料理を撮っている内に門前の小僧で覚えてしまった様です。独身生活も十年になりますが、朝昼晩の食事の支度は手抜きをしません。

料理の基本はもちろん、材料の良い悪いは別として、下ごしらえが大切です。

ホームレン草や小松菜等の葉ものは、スパーから買って来たなら、すぐに根の部分を少し切って、五分位水につけてから、野菜室に入れておけば一週間は使えます。

肉類は調理する前にスジ切りをしておく、焼いても、揚げてあまり硬くなりません。手間暇かけて作った料理を、美味しそうに食べて頂けると、作る方もうれしくなります。

隠れ料理人S記

## 「ひまわり通信」83号

2017年2月8日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住 所 隅 一 清

〒158-8501 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砵6-26-21 (定価100円)